

東京交響楽団とサンリオのキャラクターが1日限りの特別共演！ サンリオ初の文化的サステナビリティイベント開催レポート

～子どもたちにクラシック音楽とクリエイティブ体験を届ける～

株式会社サンリオ(本社：東京都品川区、社長：辻 朋邦、以下サンリオ)は、2026年8月3日(月)に東京・池袋の東京芸術劇場にて「Sanrio Nakayoku Project～みんななかよく クラシックコンサート2026～」を開催しました。

本イベントは、サンリオ初となる文化的サステナビリティイベントとして実施しました。児童養護施設の子どもたちを招待するなど、さまざまな状況にある子どもたちにクラシック音楽やクリエイティブ体験を届けるとともに、サステナビリティへの理解を深める機会を創出しました。なお、本イベントのチケット収益の一部は、日本赤十字社や子どもたちを支援する団体を通じて寄付する予定です。

コンサートでは、東京交響楽団によるオーケストラ演奏やサンリオのキャラクターによる特別なステージが繰り広げられました。また、公演の前後には、サンリオのデザイナーによるキャラクター作りを楽しめるワークショップなどの体験型コンテンツも実施。クラシック音楽とクリエイティブ体験を通じて、会場全体が笑顔に包まれる一日となりました。



© 2026 SANRIO CO., LTD. 著作 株式会社サンリオ

東京交響楽団とサンリオのキャラクターが届けた特別な音楽体験

コンサートでは、東京交響楽団が本格的なクラシック楽曲を演奏。「美しく青きドナウ」をはじめとするクラシックの名曲が披露され、オーケストラならではの豊かな音色と迫力ある演奏に、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けました。

また、公演の途中には、ハローキティ、ポムポムプリン、シナモロール、クロミが登場。楽曲「ハローキティ」や、2025年に終了したサンリオピューロランドの人気パレード「Miracle Gift Parade」の楽曲「KAWAII FESTIVAL」の演奏にあわせてキャラクターたちがダンスを披露し、会場は大きな拍手と笑顔に包まれました。



サンリオ・マテリアリティの一環として子どもたちの想像力を育むクリエイティブ体験を提供

[サンリオ・マテリアリティ](#)の重点課題である「Well-Beingの充足」および「クリエイティブの民主化」に資する取り組みとして、公演の前後には小学1年生から6年生の子どもたちを対象に、サンリオのデザイナーとオリジナルキャラクターを考えるワークショップを実施しました。また、バンダイナムコグループ協力のもと、ガシャポンカプセルを再活用したマラカスづくりワークショップを開催。ものづくりの楽しさや資源の循環について学び、制作した作品をコンサートで実際に演奏しました。

このほか、サンリオのサステナビリティに関する展示やスタンプラリー、デジタル寄せ書きも実施。来場者はさまざまな体験を通じてサステナビリティへの理解を深めるとともに、クリエイティブの楽しさに触れました。



オリジナルキャラクターを考えるワークショップ

イベントの様子



「KAWAII FESTIVAL」の演奏にあわせてキャラクターたちがダンスを披露



サステナビリティ展示（ペットボトルキャップの回収の様子）



ワークショップ会場の様子



ガシャポンカプセルのマラカス制作の様子

サンリオのサステナビリティについて

サンリオは、「世界中をみんなの笑顔でつなぐ ～Sustainability for Smiles～」を当社のサステナビリティの基本理念とし、「人は一人では生きていけない」という創業当時からの思いのもと、お互いにおもいやりを持って、支え合い、助け合う心を大切にしています。これからも私たちは、世界中のすべての人と社会に寄り添う取り組みを通じて、次世代に続く笑顔を共創します。

URL : <https://corporate.sanrio.co.jp/sustainability/>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社サンリオ コーポレートブランディング部 広報課
MAIL : sanriopr@sanrio.co.jp